

●●● チームワークが最大の武器！ 女子ソフトボールチーム 「羽島レディース」が目指す頂

**即席のチームで臨んだ
初の大会でいきなり優勝**

かつては「ソフトボール王国」と呼ばれるほど、ソフトボールが

「ソフトボール王国と呼ばれた羽島市で、女子チームを復活させたい」という思いから結成された「羽島レディース」。学生、ママ、元実業団選手など、10~50代までさまざまな経歴を持つメンバーが、悲願の全国制覇に向けて楽しく、そして真剣に練習に励んでいます。

9月の全国大会で初優勝を目指します！



監督 野口 衛さん
羽島中学校で長年コーチを務めた経験を買われ、監督に就任。初の全国大会優勝を目標に掲げ、指導にあっています

盛んに行われていた羽島市。ところが近年は人気低迷し、いつしか女子チームはゼロに。「このままではいけない。羽島市に女子チームを！」と、2017年に結成したのが「羽島レディース」です。

監督を務める野口衛さんの元に、羽島市ソフトボール協会から相談が寄せられたのは2014年。当時、羽島中学校ソフトボール部で20年にわたり社会人コーチを務めてお



全国大会予選をすべてコールド勝ちで突破した羽島レディースの皆さん。10~50代まで幅広い世代の選手が集まり、全国大会に向けて練習を重ねています

り、「これまでの経験を生かし、教え子を招集して県大会をかけた地区予選に参加してほしい」と打診を受けたのがそもその始まりでした。

これまでの伝手を頼りに、選手は確保できました。ただ、道具やユニフォームなどは何もありません。そこで、男子チームから道具とユニフォームを借りて出場することになります。

全体練習ができたのは月1回程度。それにも関わらず、初めて出場した2016年の地区予選でいきなり優勝し、県大会への切符を掴んだのです。この優勝をきっかけに勝つ喜びを味わった選手たちは、県大会優勝を目標に掲げ、正式に「羽島レディース」の創部を決めました。

「突出した選手はいませんが、とてもバランスが良いチームです」と話す野口監督。趣味のソフト

ボールとはいえ、技術の向上を目指す探求心の強いメンバーが揃っており、過去には実業団や強豪校でプレーした経験を持つ人も在籍しています。

所属する選手の半数以上は主婦で、若手とベテランが互いに尊敬し合い、冗談を言い合ったり、プライベートでも交流したりと、仲の良さが特徴です。

全国大会予選では全3試合をコールドゲームで完勝

チームの目標は「全国大会優勝」。さぞかし厳しい練習をしているのかと思いきや、実際には驚くほどマイペースで、おしゃべりしている時間の方が長くと感じるほど。ただ、ひとたび練習が始まると、まるで別人のように真剣に取り組み。オン・オフがはっきりしていて、メリハリをつけて集中するのがチームのスタイルです。

「公式戦でもいつも通りニコニコと伸びやかにプレーしています。ここぞという時の集中力は素晴らしい。チームが一つにまとまり、選手同士がとてつもない相乗効果を発揮してくれます」

この2年間は新型コロナウイルスの影響で大会の中止が相次ぎ、練習も満足にできない日々が続きました。モチベーションを保つのが難しい状況の中、互いに声を掛け合いながら臨んだ今年の県春季大会（全国大会予選）では、3試合全てをコールドゲームで勝利。最高の仕上がりで優勝し、全国大会出場を決めました。野口監督は、「選手全員が試合に出場し、チーム全員で勝ち取った全国大会。これほどうれしい優勝は今までにありません」と喜びを口にします。

3年ぶりに行われる全国大会は、9月10日から長野県で開催されます。羽島レディースの目標は

もちろん優勝です。大会が近づくと、練習内容にも変化が出てきています。「うまくいかなかったプレーに対して選手同士で話し合い、成功するまで追求して、自ら考え行動し、より丁寧に向き合うようになった」と野口監督は見えています。

地域の皆さんの応援を力に 全国優勝を成し遂げたい

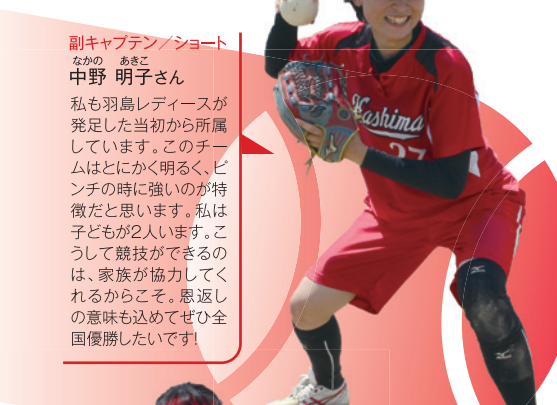
羽島レディースが大切にしているのが、地域との関わりです。「私たちのチームは、地域の皆さんのおかげで成り立っています」と感謝を口にする野口監督。グラウンドが確保できない日には、地域のソフトボールチームの練習に参加する場合や、グラウンドを譲ってもらう時も、道具や運営費を寄付してくれる人もいます。

ともに寄付金集めを行う「羽島レディースを支える会」の存在も大きな支えになっています。「私たちの顔を見ると『全国大会、頑張ってください！』と励ましの言葉をかけてくださる方が多いです。優しい皆さんに支えられて、ぜひ応援よろしくお願ひします」

羽島レディースのモットーは、「楽しく、正しく、強く。相手が強ければ強いほど、力を発揮する。そんな頼もしいチームが、チームワークの良さを発揮し、3年ぶりの全国大会でどんな熱戦を見せてくれるのでしょうか。羽島に全国大会優勝という明るいニュースが届くことを祈って、活躍を応援しましょう。



キャプテン/キャッチャー 和座 由子巴さん
小学5年生からソフトボールを始め、過去には実業団でもプレーしていました。チーム発足当時から所属していますが、とても仲が良く、年を重ねるにつれて強くなっていると感じています。全国大会では、いつも通り楽しくプレーしながらぜひ優勝したいですね！



副キャプテン/ショート 中野 明子さん
私も羽島レディースが発足した当初から所属しています。このチームはとにかく明るく、ピンチの時に強いのが特徴だと思います。私は子どもが2人います。こうして競技ができるのは、家族が協力してくれるからこそ。恩返しの意味も込めてぜひ全国優勝したいです！



ピッチャー 安藤 莉恵さん
実業団で活躍した後、同年の友人に誘われて羽島レディースに入りました。実業団では勝つことが絶対でしたが、このチームではプレー自体を楽しみながら勝ちを追求できます。10~50代まで、年齢の垣根を越えてワイワイ盛り上がりえるのも魅力ですね！



ライト 大見 遥さん
中学時代のコーチが野口監督だった縁で、地元に戻ってきた時に羽島レディースに誘っていただきました。チーム最年少ですが、年齢に関係なく仲良くしてくださるのでとても楽しいです。せっかくの全国大会ですので、個人としてもしっかり結果を残したいです

information

**羽島レディースを応援しよう！
協賛会員を大募集！**

個人/年間1口1000円
団体・企業/年間1口1万円
問い合わせ/090-3512-8364(野口さん)